建設文教常任委員会

開催日	令和6年9月10日
時間	午前9時30分～午前11時28分
場所	委員会室
出席議員	松岡 繁知、小崎 進一、成田 義之、久野 茂 加藤 光則、林 真子、山内 徳彦 (岡山 克彦議長)
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 天竺教育長 河口企画部長 岩田総務部長 石黒教育部長 三輪会計管理者 吉田監査委員事務局長 林企画部次長兼企画政策課長 浅井教育部参事 岡田人事秘書課長 服部財政課長 所財産管理課長 瀬尾学校教育課長 大沼生涯学習課長 高山スポーツ課長 吉田学校給食センター管理事務所長 小崎学校教育課課長補佐 藤田生涯学習課課長補佐 柴垣生涯学習課課長補佐 山内学校教育課係長 鈴木スポーツ課係長
関係職員	後藤議会事務局長 鹿島議会事務局次長兼議事調査課長 速水議事調査課主任
議案又は協議事項	1. 建設文教常任委員会付託事件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教常任委員会委員長 (松岡 繁知君)

それでは、ただいまから、建設文教常任委員会を再開いたします。

去る9月5日の本会議において、建設文教常任委員会に付託された議案等のうち、本日は教育委員会所管分について審査を行います。

この後、審査を行うわけですが、質疑者あるいは答弁者は、必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名乗ってから、質疑あるいは答弁を行っていただくようお願いいたします。

また、各委員の質疑におかれましては、簡明で議題の範囲を超えない発言となるように心がけていただき、御自身や他の委員の質疑が終了した後、関連質問を行う場合は、その旨を宣言し、内容が逸脱しないようにしてください。

なお、発言が明白な錯誤、趣旨不明瞭、不適切と判断した場合は、委員長において議事整理を行う場合もありますので、御承知おきください。

それでは、最初に、認定第1号「令和5年度清須市一般会計決算認定について」の教育委員会所管分を議題といたします。

当局からの説明を求めます。

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長 (瀬尾 光君)

学校教育課長の瀬尾でございます。よろしくお願いたします。

それでは、認定第1号について、建設文教常任委員会教育部所管分の歳入を一括して御説明します。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にしていただき、令和5年度清須市歳入歳出決算書の20ページ、21ページを御覧ください。中段より少し下の段、14款使用料及び手数料、1項使用料、8目教育使用料、予算現額2,022万円、収入済額1,935万4,720円、1節幼稚園使用料から3節保健体育使用料までです。

つぎに、24ページ、25ページを御覧ください。最下段の15款国庫支出金、2項国庫補助金、7目教育費国庫補助金、予算現額9,094万9,000円、収入済額8,021万5,642円です。1節小学校費補助金から26ページ、27ページを御覧ください。5節保健体育費補助金までです。

28ページ、29ページを御覧ください。最下段、16款県支出金、2項県補助金、8目教育

費県補助金、予算現額5,480万5,000円、収入済額5,818万5,321円、1節教育総務費補助金から30ページ、31ページを御覧ください。3節社会教育費補助金までです。

つぎに、中段より下のほう、3項県委託金、5目教育費委託金、予算現額20万5,000円、収入済額13万円、1節教育総務費委託金です。

34ページ、35ページを御覧ください。上段、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、予算現額10億5,222万6,000円、収入済額10億5,222万6,000円、1節基金繰入金のうち、教育部所管分は備考欄一番下の義務教育施設整備基金繰入金1億5,000万円です。

つぎに、中段、21款諸収入、5項雑入、2目雑入、予算現額9億5,984万678円、収入済額9億708万5,024円、収入未済額6,770万6,315円。

38ページ、39ページを御覧ください。

9節教育費雑入です。収入済額2億3,509万8,901円、収入未済額498万9,512円は学校給食費の未納分です。

40ページ、41ページを御覧ください。22款市債、1項市債、4目教育債、予算現額4億8,000万円、収入済額3億9,700万円、収入未済額8,300万円、1節社会教育債と2節保健体育債です。収入未済額8,300万円は春日公民館の特定天井等改修工事に伴う繰越額です。

以上が、教育部所管の歳入でございます。

引き続き歳出につきまして、学校教育課所管分を説明させていただきます。

70ページ、71ページを御覧ください。4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費、予算現額1億9,784万円、支出済額1億9,512万5,043円、8節旅費から18節負担金、補助及び交付金までです。そのうち、生涯学習課所管分は備考欄を御覧ください。下から2行目の一場公民館整備費で、公民館用地償還金1,742万8,837円です。衛生費に係る生涯学習課所管分でございます。

88ページ、89ページを御覧ください。10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費、予算現額236万9,000円、支出済額226万1,734円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

つぎに、2目事務局費、予算現額3億7,524万3,000円、支出済額3億7,307万7,102円、1節報酬から90ページ、91ページを御覧ください。22節償還金、利子及び

割引料までです。

つぎに、2項小学校費、1目学校管理費、予算現額5億4,446万6,000円、支出済額5億1,913万445円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

つぎに、2目教育振興費、予算現額7,006万1,000円、支出済額6,337万4,823円、7節報償費から92ページ、93ページを御覧ください。19節扶助費までです。

つぎに、3項中学校費、1目学校管理費、予算現額3億2,618万6,000円、支出済額3億631万8,434円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

つぎに、2目教育振興費、予算現額4,401万7,000円、支出済額3,890万585円、7節報償費から19節扶助費までです。

つぎに、4項幼稚園費、1目幼稚園管理費、予算現額6,324万円、支出済額6,001万3,458円。94ページ、95ページを御覧ください。1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

学校教育課所管分は、以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

生涯学習課長の大沼です。

引き続き生涯学習課所管分を説明させていただきます。

5項社会教育費、1目社会教育総務費です。予算現額1億570万3,000円、支出済額1億155万9,631円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

つぎに、2目公民館費です。予算現額2億5,904万5,000円、支出済額1億3,997万5,383円、1節報酬から1ページおめくりいただき、96、97ページを御覧ください。18節負担金、補助及び交付金までです。繰越明許費1億1,105万円は、春日公民館大ホール特定天井等改修工事の工期延長に伴うものです。

つぎに、3目文化財保護費です。予算現額2,002万8,000円、支出済額1,959万2,736円、1節報酬から18節負担金補助及び交付金までです。

つぎに、4目社会教育施設費です。予算現額3億3,569万7,000円、支出済額3億2,958万3,532円、1節報酬から14節工事請負費までです。

生涯学習課所管分は、以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

スポーツ課長の高山でございます。

引き続きスポーツ課所管分を説明させていただきます。

6項保健体育費、1目保健体育総務費、予算現額7,674万4,941円、支出済額7,484万8,408円、98ページ、99ページを御覧ください。1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

2目体育施設費、予算現額6億1,119万2,000円、支出済額5億9,949万5,311円、1節報酬から21節補償、補填及び賠償金まででございます。

スポーツ課所管分は、以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田でございます。

引き続き98、99ページ、学校給食センター管理事務所所管分を説明させていただきます。

3目給食センター費、予算現額6億9,193万9,059円、支出済額6億7,467万293円、1節報酬から100、101ページ、18節負担金、補助及び交付金まででございます。

建設文教常任委員会教育部所管分の説明は、以上でございます。

御審査のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

以上で、説明は終わりました。

これより質疑を行います。質疑については、ページごとに行わせていただきます。

それでは、まずはじめに、歳入の20、21ページ。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

つぎに、24、25ページ。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

つぎに、26、27ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

つぎに、28、29ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

つぎに、30、31ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

つぎに、34、35ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

つぎに、38、39ページ。

林委員。

林 真子委員

林です。

すみません、この教育費、雑入の中の収入未済額について、給食費の未納分であると御説明があったんですけども、もう少し中を詳しく御説明いただけますでしょうか。

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長(吉田 剛君)

学校給食センター管理事務所の吉田でございます。

歳入未済額の詳細でございますが、こちらにつきましては、498万9,512円のうち、現年度分が66万8,000円、過年度分が432万1,512円ということで、全て学校給食費の未納となっております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長(松岡 繁知君)

林委員。

林 真子委員

ありがとうございます。

私も、毎回こちらのほうの内容を質問をさせていただいているんですけども、前にも所長にお願いしたのかなと思ったんですけども、この給食費の未納となっているお子さんの御家庭なんですけれども、いろいろ問題を抱えている場合があるのではないかなと私、推察しております、具体的に分かるわけではないんですけど、そうしたときに、こうした給食費を未納しているところから、学校教育課ですとかソーシャルワーカーさんですとかと連携して、この家庭の中のいろんなことの相談に乗っていくということを進めてくださいというようなことをお願いしているんですけども、その辺どんな現状でしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所の吉田です。

学校教育課のほうの相談員さんのほうと、特に在校生につきましては、連携を取りながら徴収のほうをさせていただいております。無理に大きいお金を頂くということではなくて、相談員さんを通じて、どれぐらいだったら払えるのかということも含めて、相談員さんを通して保護者のほうに話をさせていただいたり、こちらから連絡を取りたい時は、相談員さんのほうに、またお願いして連絡を取ってもらったりということで、学校教育課の相談員のほうとは連携しております。

また、児童家庭課のほうの職員のほうとも連携を取ってですね、児童手当のほうから納めていただいたりというような相談もさせていただいております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

ありがとうございます。

本当にいろいろな事情があって、低所得の方とかであれば、そういう措置がされているはずなんですけれども、中には一時的な金銭の問題もあるでしょうし、その他のいろんな問題でお子さんも悩んでいらっしゃる方もあるんじゃないかなと思いますので、引き続きしっかりとこちらの給食費の未納という問題だけで終わるのではなくて、このお子さん方、一人一人しっかり見てい

ただいて、こちらが何か支援につながっていくようなほうに、これからも取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに38、39ページ。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

次に行きます。40、41ページ。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

それでは、歳出に移ります。ページ数70、71ページ。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

つぎに、88、89ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

加藤です。

88ページのところで、まず教育事務費のところ、いじめ問題ですね。対策連絡ということで予算が上がって、執行されておるわけですけれども、一般質問の時は長期欠席のことをお聞きしました。

まずあの時はあれだったんですけれども、2学期始まってどうなのか、お聞きします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

9月から始まってからの欠席者の数なんですけれど、9月の3日、小学校で123人、うち不登校者の数が27人、中学校117人のうち、不登校者が78人。9月4日、小学校欠席者147人、うち不登校者数が34人、中学校137人のうち、不登校者89人。9月5日、小学校欠席者数129人、うち不登校者数32人、中学校156人のうち、不登校者95人。9月6日、小学校欠席者数148人のうち、不登校者数が32人、中学校146人のうち、不登校者数は9

7人になっております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

いずれにしても、大変数字が大きいわけでありますが、前年度なんかと比較して、この夏休み明けはどうですか、今年は。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

前年度の比較ではなくて、1学期末、7月の末の数値と比較した場合、小学校で不登校の方で欠席しているのが55名、中学校では102名の生徒が欠席をしているという状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

この長期欠席については、一般質問でいろいろ質問させていただきましたので、ここではですね、いじめの問題について少しお聞きします。

いじめはですね、不登校になる要因の一つであると言われてはいますが、いじめの重大事態の発生件数が全国的に見ても、これ増加傾向となって、依然として法律や基本方針、更にはガイドライン、いろいろ出してみえるわけですから、実際にはそれに沿った、国のほうが言うには、対応が十分ではなかったために、児童生徒に深刻な被害を与える事態が発生している状況だということを言われているわけであります。

加えてですね、法施行から既に10年たっておって、いろいろな調査の実施に様々な課題も明らかになったから、このいじめのガイドラインの改定がですね、この8月に国のほうも行われてきたわけであります。本市の状況等もですね、今どういう状況にあるのか、まずお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

いじめの認知件数として、小学校で令和4年、1, 142件、令和5年度は786件、中学校では令和4年、72件、令和5年、41件、認知件数のほうは減っております。

いじめの解消済みの件数なんですけれど、小学校が令和4年、642件、令和5年、786件、中学校が令和4年が79件、令和5年が41件、こちらも解消済み件数は、小学校では増えております。中学校では減っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

長期欠席は、中学校は非常に多いということ、それから、今のいじめの問題については、低年齢化してきて、小学校が非常にこの課題としては大きな問題を含んでいるということであろうと思うわけであります。

それで、本市の小学校のいじめ防止基本方針等があるわけでありますが、その中でも学校いじめ防止基本方針やいじめ問題対策マニュアル、この共通理解を図って、教師一人一人がいじめ情報とか不登校対策委員会に報告していく、いろいろなことが書かれておるわけですが、その辺で何か今、特にこれだけ小学校があるわけですが、今課題となっているようなことがあれば教えていただきたい。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

浅井教育部参事。

教育部参事（浅井 努君）

教育部参事の浅井でございます。

いじめの原因につきましては、様々あるかと思えますけれども、人間関係のトラブル、また家庭の問題、あとはSNS上での問題、そういった要因がございますので、早期に情報をキャッチしながら、教職員でも対応していくように考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

長期欠席のところでもですね、様々な要因ということで一くくりにされておって、その中にもいじめというのが、一つの要因としてあるわけでありまして。そのいじめという一つの要因も、また様々な要因ということをおっしゃっておる。

特に、清須市は長期欠席が多いわけでありまして。その要因はどういうふうに見ていくかというのは、私は非常に大事なことだと思いますし、そういう中で今回プランを出されてですね、今後9月からやっていくんだということでもありますので、しっかりやっていただきたいわけですが、もう一つですね、例えば小学校で、ホームページにいじめ防止基本方針を公表してですね、学校評価の結果等を配信するとなっておりますけれども、これについては、どういうふうにおっしゃるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

学校のホームページには、今、全ていじめの防止基本方針というのは載せております。結果についても公表をしております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

そうするとですね、今言われたような結果等も発信されておるといことでありますが、それは、学校ごとに分かるようになっているのか、それとも市全体のことで、今言われたようなことを評価されて発信されているのか。

それからですね、その配信されているのを見てですね、保護者の方との共通認識を持った取組は、どのようにされておるのかということをお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

学校ごとに配信をされております。

保護者の方からやはり多いのは、未然防止と早期発見、これに力を入れてくれと。実際にその取組をしております。

あとですね、家庭や地域との連携なども保護者の方からどうやって、相談場所はどこかとか、そういう問合せはございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。なので、長期欠席がこれだけあって、またいじめの問題がですね、低年齢で、小学校で非常に課題としてはあると。そういう中で、長期欠席の問題もこれまで文科省が結果をやっておったけれども、教師と当事者と保護者の間で若干の認識の違いがあったということで、改めて今、いろいろな課題が浮かび上がってきておるんですが、このいじめの問題についても、そういったことがあるのかどうなのか、お聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

いじめに関しましては、一番多いのが、小中学校とも冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、あと、嫌なことを言われるということで、ここは保護者、児童生徒、教員、認識は同じでございます。

あと、やはりSNSの関係では、少し教員と認識が違うというか、教員が把握できていないところがあるかと思います。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

SNSの課題もあると思います。それでタブレット等が皆さん触るようになって、余計いろいろなところでの情報が、やっぱりそういう教育がされておるわけですから、子どもたちもいろいろSNSについては興味もあって、いろいろ操作されると思うわけですが、その辺については、どういうふうに、あとの動作のところ、今回も教師のマニュアルが出てくると思うんですけど、どういうふうに今、考えられておるのか、お聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

児童生徒には、情報モラル教育というものを毎年やっております。年度初めや学期初めにつきましては、保護者の方にもタブレットの使い方の案内、注意点などをまとめたものを t e t o r u で配信をされております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。

それで、本市の新たなプランが9月の2日から出されて、いよいよ進められていくわけですが、このいじめの問題についてもですね、この間学校が調査の主体となって、これはいろいろ学校に重大な事態の何かが起きたときとか、いろんなことでマニュアルが今までであったと思うわけですが、これについては、何か今回のプランとの関係で見直されていくということはあるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

いじめに関するプランというかマニュアルについても、これは適宜修正を加えていくものだと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりですね、訂正も加えながら、こういった現実が目の前に課題としてあるわけですので、取り組んでいただきたいということを、まずお願いしておきます。

ほかのところでもよろしいですか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

はい、どうぞ。

加藤 光則委員

放課後子ども教室についてお聞きしたいと思います。

成果報告書は、307ページになりますかね。

この放課後子ども教室についてはですね、改めて私も実態を知るためにですね、令和5年度の、今年の1月24日ですか、運営委員会の会議録を読まさせていただきました。

皆さんですね、非常に頑張って運営されている様子、これが伝わってきたわけであります。同時にですね、この中でも要望等が幾つか出されておりました。登録者、利用者、非常にこの清須市、今、多いわけであります。その中で課題もあったかと思えます。この要望もですね、見てみると、どこに言えばいいのかという、若干ですね、言いづらいのかなというのも含めてですね、あったと思えます。そういう中で、課長がしっかり受け止めてですね、答弁もされておったわけでありますが、その後どういうふうにな、対応されておるのか。その会議に出られておったわけですので、お聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

放課後子ども教室運営委員会の中で出た意見としては、やはり施設のじゅうたんが汚いとかそういう衛生的な面で結構要望が言われました。

今年度できるものは修繕等いたしますし、今年度できないものは来年度に計画をいたしております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

令和5年度もですね、登録者、これ1,000名超えとったんですよ。1,032人ですか。そうした中で、活動場所の広さの課題、特に清洲小学校の体育館、これ私もなかなか気が付かなかったんですけども、手洗い場がないと。トイレの中にも少ししかない。こういうような課題、非常に多い子どもたちの中で、そういった課題があった。さらにはですね、体育館での遊びで、エアコンを使っていいのかどうなのかという、これもちゅうちょされていた。それから、イベントを行うためにですね、社協にけん玉を借りに行ったら、これは公共団体には貸せんという

ようなことを言われたと。

いろいろな声があったわけですね。こうした声に耳を傾けて、交通整理もしながら課長も答えられておったと思うわけですがけれども、今言われたんですけど、できることはやっていくんだということであったんですけども、現場は本当に日々大変な中で頑張っておられて、最初に申しました広さの問題も、清洲小学校はすごい狭い所にたくさんの方が来てみえるわけですがけれども、こういった今できることは何なのかというところは、どういうふうにお考えですか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

まず、清洲小学校の問題、体育館の空調は使えないんだろうかということに関しては、3月の校長会で放課後子ども教室の方が使う場合も使っていいということをお願いして、校長先生方にも了承を得ておりますので、現在は使われていると思います。

あと、場所の問題なんですけれど、清洲小南館の2階に多目的室がございますので、そちらの利用のほうも校長のほうから許可を得ております。

社会福祉協議会のけん玉の件、これはまだちょっと調整中でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

本当にそういう生の声を聞く中で、課長が受け止められて、なかなか意思の疎通が今までできていなかったのではないかなと、私はこのやり取りを見て思うわけです。

いろいろな問題が、課題があっても言いづらいというところもあったかと思うんですね。やっぱりすぐできることはすぐやっていただきたいし、それから、体育館に手洗い場がないという、これは本当に深刻な話なんですね。こういったこともですね、今後の改善、あそこは避難所でもあるわけでありますので、この課題についてもですね、教育委員会だけの課題ではないと思うんですね。だから、いろんなやっぱり情報を共有しながら、できることは是非やっていただきたいわけであります。

その中でですね、こういう場が1年に1回じゃなくして、やっぱり課題や問題に対して返していくことも必要だと思いますので、しっかり意思の疎通、皆さん方、一生懸命やられております

ので、しっかりやっていただきたいと思います。

今回もですね、今言われたようにできることはということで、案分して消耗品の予算を出されておると、案分を出して、公平性もいろいろあるからやっておるわけですが、安全・安心という面については、いろんなところから出されておったのが、やっぱり教室のカーペット、これが汚いということと、掃除機かけると大変な毛玉の問題、これについては、何らかの対応ということは考えられないのかということをお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

カーペットのクリーニングの件なんですけど、こちら見積りをお取りして、何とか来年度には財政課のほうと協議をしながら、予算を確保していきたいと思っております。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかりそういう生の声や、現場を見られたりして、これは重要だと思ってやられると思いますので、しっかりその辺の意思の疎通とやっぱり現場の状況を把握しながら対応していただきたいということをお願いしておきます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに、88、89ページ、よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

それでは、次に移ります。90ページ、91ページ。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

つぎに、92、93ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

就学援助費のところをお聞きしたいと思います。

これ小学校、中学校、上と下を書いてありますので、合わせてという形でお聞きしたいと思います。

成果報告書は、318ページと325ページです。

これもよく質問させていただいておる課題であります。

本市は、まず令和5年度のこの就学援助の受けている人の率、全体からいったら何%ぐらいなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

学校教育課長の瀬尾です。

4%ほどの率になると思います。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

ちょっと分母があれかもしれませんが、全国平均よりもですね、低いということは共通認識としてあるわけです。清須市もいろいろ頑張ってやられておるわけですが、先ほど学校給食の未払いということも出てきたわけですが、この辺についてどういうふうに今、対応されておるのかお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

給食費の未納等に関しては、学校のほうから連絡がございましたら、先ほど吉田所長が回答したように、うちのスクールソーシャルワーカーの方々に間に入ってもらって、保護者の方、当事者といろいろと相談をして支払うように促しております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

近年みられてですね、今この就学援助の制度の利用は、どういうふうに現況をつかまれて、どういう今、状況が課題としてあるのかというところをお聞かせいただきたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

令和4年度と令和5年度の比較で言うと、やはり援助を受ける方の人数も増えておりますし、金額も増えておりますので、十分これを周知した結果であるとは思いますが、増えているというのが現状でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

やはり物価高騰とかいろんな今、生活が大変な状況があると思うんですね。そういう中で、この制度というのは非常にいかしていかないかん制度だと思います。

それですね、全国平均から見ても低いという実態がこの愛知県にあるわけですが、本市のこの援助の関係で生活保護基準の今、幾つでしたでしょうか。改めてお聞きします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

1. 3倍でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今ですね、物価高騰の下で大変な状況があって、これずっと1.3倍でやられておるわけですが、経済的理由でですね、子どもの就学に格差が生じることは教育の機会均等の理念から極めて問題であるということが、これあるわけでありまして。

就学援助の制度、私は全国的に低い理由というのは、愛知はいろいろですね、工業県やいろんなところで最低賃金も高いということやいろいろなことは言われておるわけですが、しかし、

生活保護基準の1. 3というのは、前にも言いましたけれども、今の時点では1. 4に引き上げていくこと、これが非常に私は求められていることだと思いますので、回答は結構です。私は是非ですね、この基準の引上げについてもお願いして、この質問を終わりたいと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに、92、93ページ。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

次に移ります。

ページ、94、95ページ。

林委員。

林 真子委員

林です。

この地域学校協働活動推進費のことでお聞きしたいんですけども、これ報告書は、334ページですね。

この中に、事業内容として、地域の実情に応じて学校と地域が双方向の連携・協働を地域のボランティアとともに実施したと、こういうふうにあるんですけども、もう少し具体的に、この令和5年度どのような活動が行われたのかお聞きしたいんですが。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

生涯学習課長の大沼です。

地域学校協働活動、こちらの推進員につきましては、学校と地域をつなぐ業務を主に行うコーディネーターと呼ばれる代表の24人の方々がおみえです。

その方々の下、各種ボランティア活動に従事していただく方が、御登録いただき、それぞれの学校で活動していただいています。

主な活動内容といたしましては、学校図書への修繕作業、あるいは、学校図書を活用した読み聞かせ、また、市立図書館から学校に所有していない本を借り出して、そちらのほうを活用した図書の推薦活動といったことに従事をしていただいているとともに、学校の校外活動、低学年の町

たんけんであるとか、一部林間学校などでも少しお手伝いをいただきながら、学校の先生を支援したり、地域の方々も一緒になって子どもたちの成長を支えているといった活動に従事をしていただいております。

また、活動を行っていく際に研修等も必要でありますので、愛知県主催の研修などにも積極的に参加をしていただいたり、あるいは、直接読書の読み聞かせの講師をお招きして自らのスキル向上に努めていただくなど、活動に努めているところであります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

御丁寧にありがとうございます。

今、お聞きしておりますと、図書関係というか読書の関係が多いと思うんですけども、コーディネーターが学校の要望と、あとボランティアさんをつないでいると思うんですが、このほかに、例えば学校のほうからはこういうことをやってほしいんだという要望があるんだけど、なかなかボランティアさんが見つからなくてという、そういうような事例はありますか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

学校の見守り活動などについて、どういった形で、現在この学校支援本部に登録しているボランティア以外の方々をどうお迎えして、一緒にお手伝いしていただく方々を増やしていけるのかといったような、現在課題を抱えており、様々なところで、まず宣伝活動が必要ではないかというところで、PRなど努めているところであります。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

今、PRに努めていらっしゃるということなんですが、具体的には、例えばどういう団体に対して働きかけるとか地域に対してどのように具体的にPRをされているんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

現在PR活動として、令和5年度においては、民生児童委員の会議などに自分も参加をして、新しくいろいろ活動を始めていますので、こういったこと御承知おきくださいといった、まず御案内等を差し上げたり、あと、地域の様々な課題を解決するために行われている協働テラスなどにも少し参加をして、どんな活動をしているのかといったPRを行っているところであります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

ありがとうございます。

今、恐らくこのボランティアさんとして女性の方が多いのかなと、今、お話を聞いていて思ったんですけども、地域には元気なおじいちゃん方がいっぱいいらっしゃるって、例えば学校へ行ってみますと、本当に先生方が汗を流しながらいろんな作業を行っていらっしゃる姿を見ると、結構この地域の高齢に近い方で、高齢の方でなくてもお時間ある方いらっしゃると思いますので、ちょっとPRの方向もそういったところも含めて広げていくと、先生方のそういう負担も減ってきますし、子どもたちにもいい影響があるんじゃないかなと思いますので、是非この地域のパワーをしっかりといかしていただいて、とてもいい活動だと思いますので、今後もしっかり取り組んでいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに、94、95ページ。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

それでは次、96、97ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

文化財の保護費のところでお聞きいたします。

改めて清須市の文化財について、少し見させていただいたんですけども、非常にですね、清須、歴史に織りなされたまちということで、朝日遺跡を始めですね、例えば廻間の遺跡とか市内

にはこの12か所遺跡もあるわけでありまして。さらには、清須にはですね、いろいろな指定文化財もあるわけでありまして。

やはり文化財保護ということで、今いろいろやられておるのは分かるわけでありまして、これを何か、例えばよく産業課が観光のことで言うと、清須市には観光地がなくて、観光施設があるんだというような言い方をされとるわけですけども、何かこの文化財が、私は本当にもっと発信していくことが大事じゃないかなと思うんですが、その辺はどういうふうに、この文化財保護ということで、保護は大事ですけど、これをどう生かしていくかというところは、何かお考えがないのかお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

文化財の活用につきましてであります、市が指定する文化財13件ございます。そのうち、基本的には個人の方所有のものであったり、町内会所有のものであったりというところもあって、いたずらに公開をお願いしていくのが適切かどうかというところはございますが、市内には様々な文化財、文化資源があるといったことは、しっかりとPRをしていく必要があるというふうに考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

文化財の物だけじゃなくて、その歴史ですね。この地にこういうものがあつたんだという、先ほども言いましたが、遺跡だけで12か所あるんですよ。ここにこういうことがあつたのかというのは、市民の方でも知らんことが多いんですよ。例えば前、大河ドラマをやったときにはですね、江のことが書かれた看板があつたんですが、あれも雨で朽ちて、その後撤去されたとかですね、いろいろ歴史が書かれておつた掲示物もなくなってきておるんですよ。

美濃路を歩くと、これは個人のなのかもしれませんが、美濃路をずっと行くと春日のほうにですね、ちょっと外れた所に代官所の跡地だということで、看板を出されておるんですよ。いろいろ見ていくと、廻間遺跡の所も踏切を渡った所に看板があつて、きちんと歴史を表示されておるんです。

こういう所を歩かれとる方も、やっぱり清洲城を訪れたり、朝日ミュージアムを訪れられたりして、ずっと回ってみえる方があるんですよね。この辺をやっぱり私は文化財保護とともに、やっぱり発信していくということが大事じゃないかなと思うんですが、その辺のことについては、所管課は何か産業課なんかと一緒に論議する場というのはないんですか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

直接的に会議といった形は行っておりませんが、適宜それぞれのイベントなどを行う際など、どのようなことを行うのかであったりというところは、情報の共有は進めております。

また、様々な市内の史跡等の案内などにつきましても、改修できるものについては少しずつ取り組んでいるところではありますが、なかなか一度に全てを対応することは難しいという現状もありますので、委員おっしゃるとおり、情報発信、PRというのはとても大事なことだと認識はしておりますので、今後も継続して努めていきたいと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

認識は共有できたと思いますので、是非ですね、情報発信というところも含めて、文化財を保護していく上においてですね、重要だと思いますので、是非御努力いただきたいということをお願いしておきます。

その下のところで、社会教育施設費のところでお聞きいたします。

社会教育施設の利用実績を見せていただきました。令和5年度、いろいろ市民センターからずっと屋外社会教育施設もいろいろあるわけですけれども、令和4年度、令和5年度、前年度比で、どうこれを見られたかお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

生涯学習課所管施設において、令和4年度から令和5年度にかけては、おおむね利用が伸びてきているというふうに認識をしております。

理由としては、やはりコロナの2類から5類への移行というところが大きかったかなというふうに理解をしているところであります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。伸びてきておると。それで、そうすると、合わせてですね、施設の拝観料や入場料も伸びてきておるという理解でよろしいのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

基本的には、入場者数の伸びとともに利用料が伸びているというふうな理解の部分と公用利用ですね、市が行事として行う利用者数もこの利用人数等に計上されてきておりますので、その部分が完全に比例しているというわけではございません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。その中でコロナも明けて利用が増えてきたということで、施設の利用料等も見直しもされてきたわけでありませう。

今、令和6年度を迎えたわけですけれども、何か所管として教育施設の利用については、利用しやすいものに変えていくとかこういうところの課題があるとかいうのは、あるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

施設によっては、やはり建設から時間がたってきている部分も多くありますので、そういったものを適宜修繕等をしていく必要があるということ課題と認識しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

もう一つ、今あちらこちら新しい施設に行くと場所によってW i - F i の機能ですね、これがやっぱり備え付けられておるんですけれども、本市の場合は、社会教育施設、どういうふうにごえられておるのかお聞きします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

大沼生涯学習課長。

生涯学習課長（大沼 賀敬君）

社会教育施設のみならず、公の施設全体としてどのように情報を取り扱うための通信環境を整備していくのかというところは、改めて関係部署と調整が必要かと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

是非ですね、関係部署と調整を含めて議論をして、どんな課題があるのかも含めて、いろんな会議をやる上で今、どうしても、ここでもタブレットを使っていますけれども、いろいろ必要になってくるといことも多いかと思ひますし、それによって利用も伸びるかもしれませんし、一度是非、関係部署と話を進めていただきたいと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに、96、97ページ、よろしかったでしょうか。

（「なし」の声あり）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

最後、98、99及び100、101ページ。

小崎副委員長。

建設文教常任委員会副委員長（小崎 進一君）

小崎です。

子ども会活動費のところでお質問させていただきます。

主要施策の360ページのところで、子どもが、児童の数というのは例年と変わらないんです

けれども、今回会員数が去年に比べて1割ぐらい減った何かこの要因というのはあるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

スポーツ課、高山でございます。

要因につきましては、様々な要因があるかというふうに推測をしております。

まず一つは、共働き世帯が増えてきているということと、あと子どものスポーツクラブへの参加、また、余暇の、娯楽の増加ということで、個人の生活が主体となってきているというのが大きいというふうに推測をしております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

小崎副委員長。

建設文教常任委員会副委員長（小崎 進一君）

あとですね、支出のところで総会及び研修費のところは、前年ですと53万円で今回180万円ということで3倍ぐらいに膨れていますけれども、ここら辺というのは、積極的な活動をされたということなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

スポーツ課、高山でございます。

こちらのほうにつきましては、外部、東尾張ブロックという協議会がございまして、そちらのほうへの研修参加が増えているということでございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

小崎副委員長。

建設文教常任委員会副委員長（小崎 進一君）

ありがとうございます。

あと最後にですね、事業の補助金のところで、この補助金の支払いというのはこの五つの団体を通して支払われるものなのか、それとも、個々の子ども会で申請したらこれ払われるのかだけ

お聞きしたいんですけれども。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

こちらのほうにつきましては、地域の子ども会を通して地区の子ども会、いわゆる単位子ども会のほうに支払われているものでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

小崎副委員長。

建設文教常任委員会副委員長（小崎 進一君）

そうすると、ここに加盟しないことには払われないという形ということでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

現在、単位子ども会、町内の子ども会につきましては、全てが市の子ども会連絡協議会のほうに入っているということでございます。ただ、今年度に入りまして、一部活動が難しいというところがございますので、そちらにつきましては、この子ども会連絡協議会の内部のほうで調整をしているところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

小崎副委員長。

建設文教常任委員会副委員長（小崎 進一君）

ありがとうございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

林です。

すみません。今の子ども会に関連して、引き続きちょっとお聞きしたいんですけれども、まず

このスポーツ課として、この子ども会の方のフォローというかバックアップというか、どのような関わりで日頃子ども会の役員さん方というか、されているのか、お聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

私ども、子ども会の事務局といたしまして、市子の運営はもちろんのこと、単位子ども会のほうからの相談に対しましても情報提供やアドバイスをさせていただいて、できる限り子ども会の会員数の確保又は増員に努めています。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

そうしますと、今の課長のお言葉ですと、スポーツ課としては、子ども会の会員数を増やして子ども会を何とか存続していきたいという意思であるということによろしいんですね。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

スポーツ課としましては、こちらのほうは将来的に地域の担い手にもなろうという児童でございますので、小さいうちから地域コミュニティのほうになじんでいただいて、地域の在り方とかですね、人を思いやる心とか協調性を養って、地域コミュニティのほうの活力の向上につなげてきたいというふうにも考えております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

お考えはよく分かりました。それで、先ほどこの子ども会の人数が減ったとか、この理由について、お子様方がほかにいろいろ行き場があったり、そういうニーズが減っているというような子ども会のふうにお聞きしたんですけれども、私、いろいろ全国の子ども会の中の声とか、いろんなのを調べたり、地元の方に聞いていると、親御さんの都合も多いんですよ。忙しくて役員が

やれないとか、あるいは、人間関係で悩む場合もありますし、こうしたことを何か解決策を見つけていかないと、お子さんたちはその内容、子どもの会の行事のよっては喜んで参加される場合はあるんですよ。とても喜んでおられます。その中で、親御さんの負担だと思うんですね、私、課題は。そうしたことで、何かお考えがあればお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

私ども、市の子ども会連絡協議会のお話になってしまいますが、役員の皆様の会議につきまして、足を運んでいただくのが難しいという方に関しましては、リモートを導入しまして遠隔での会議参加をしていただけるような会議方式を取り入れているのと、あとは、役員の輪番につきましてもいろいろな御相談に乗らせていただきまして、できる限りスムーズな運営ができるように努めているところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

ありがとうございます。いろいろ御相談に乗っていただいているようですけども、今課長がおっしゃったように、例えば夜の会議は負担であるので、リモートはすごくいいことだと思いますし、もう一つは、ここの地域は、私、ちょっとはつきり分かりませんが、いまだによく紙でいろいろなものが回覧をしたりとか配布したりとか、そういうことがまだあるように、地域があるように聞いております。こうしたこともLINEですとか、セキュリティの問題もあるんですけど、なるべく負担を軽くしてあげるといことと、もう一つどうしても私どもも地域の町内会のいろんな行事をやっておりますと、結構子ども会の方をお願いすることが多いんですね。それも一部負担になっていますので、この町内会の関係でありますのは総務課のほうにはなるんですけども、逆にこの自治会というか町内会のほうも子ども会のお手伝いをしてあげる。なるべく自分たちでできることはやりながら、子ども会さんの負担を軽くしていくとか、こういうことを双方が地域で話し合って、私は進めていけば、もう少し改善されていく部分もあるんじゃないかなと思いますので、これはなかなか所管のスポーツ課だけでは難しいかもしれませんが、もし子ども会をこのまま存続したい、子ども会の子どもの体験をもっともっと増やしていっ

て、こういう思いがおありなのであれば、そういうところももう少し考えていただきな
がら、相談に乗っていただけるとありがたいかなと思いますので、要望させていただきます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに、98、99及び100ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

先ほどのところで言いました社会教育施設で、体育施設関係でお聞きします。

利用実績ですね、特にスポーツ関係でいろいろあるわけですけれども、令和5年度は前年度と
比べてどういう状況で、どういうふうに判断されておるのかお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

スポーツ課、高山でございます。

こちらにつきましては、社会教育施設と同様に、コロナが明けまして利用者のほうが伸びてい
る状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

私です、市の資料を見ると、令和4年度と比べて令和5年度、屋外社会体育施設が結構減
つとるんですね、利用が。

それで、いろいろこれを見ると、アルコのように増えとるところもありますけれども、例えば
新川の軟式野球場なんかは前年と比べて75%ですし、ソフトボール場も79%ですし、春日の
テニスコートも95%、春日のグラウンドも94%、増えとるのもありますよ。だけど、減つとる
のも結構あるんですね。この辺はどういうふうに見られて判断しとるのかということをお聞き
したかったんですが、当局が増えとるということですので、この辺はどう考えたらいいの
か。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

こちら、屋外につきましては、昨年度より大変気温の上昇が激しいということもございまして、利用のほうが少ないというふうに見込んでおります。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今日議論しておるのは令和5年度でありますので、今年度は猛暑であると思いますが、令和4年度と比べて令和5年度が減るということを私はお聞きしたんですけれども。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

ちょっと訂正させていただきたいと思います。

こちらにつきましては、場所によって増えている所、減っている所があるかということでございますので、そのチーム、利用する団体が使わなかったのも、少なくなったというふうに認識しております。

増えた所につきましては、今まで抑えられていたことが、コロナが明けたので、利用が増えたというふうに考えております。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

やっぱり利用実績数というのは、コロナが明けてですね、令和元年度から、市の資料を見ると、5年度までずっと掲載されておるんですよね。令和4年、令和5年度と比べて、前年度と比べてどうなのかも、それから利用の使用料や入場料についても、きちっと市のほうは一覧にされておるわけです。

これ、それは申込みがあれば増えるし、申込みがなければ減るという判断だけじゃなくして、これどうして減っておるのかということも、もう少し突っ込んで、本当に利用しやすい状況にあったのかどうなのかも踏まえて、これ一度御検討いただいて、更に利用者を、せっかくある施設

ですので、伸ばしていく努力もしていただきたいということをお願いしておきます。

それからアルコであります。アルコは、毎年すごく人数も増えているわけでありまして。特に周りの市町等が、温水プールがどんどんなくなってきて、小牧なんかもですね、今閉鎖されておりますので、すごくたくさんの方がアルコに来てみえるわけでありまして。

このアルコの改修を見ると、実施年度が平成19年度から造波プールの補修工事等をずっと平成19年、20年、21年、22年、23年とずっと続いておるわけですけれども、令和5年度については、どんな改修が行われて、今後どういうふうはこの改修を、また、9月入ってから今改修に入るわけですけれども、どんな状況なのかお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

令和5年度からアルコにつきましては、大規模改修が始まっております。平成7年の3月以来の機械が改修されていないということで、心臓部であるヒートポンプ、それからキュービクル、それから屋内の空調、配管、全てを取り換えて、快適な施設に生まれ変わらせようというものでございます。

令和5年度は現地調査と機器の製作、それから、令和6年度につきましては機器の撤去及び設置、それから、令和7年度につきましては屋内配管等を整備しまして、3年間で工事を終えるという予定でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

3年間でやっていくということでもあります。

過去の資料も見てみますとですね、例えば平成21年度ですね、これヒートポンプ、熱源のやつなんですけれども、更新工事するんだということで、これ1年目ということになっておったんですよね、3年間かけてやるんだと。今の話を聞くと、物すごくお金がかかってくるわけですが、この3年でやるという話がどういうふうになって、流れの中でどういう改修になっておるのかというのがね、当初平成21年が実施で、3年間でやっていくんだという、ヒートポンプ一つ取り上げてみればですね、これ何か変わってきておるような話というのは何かあるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

高山スポーツ課長。

スポーツ課長（高山 敬君）

当時につきましては部分的な補修ということで、今回につきましては全面取り換えという工事でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

部分的な補修して翌年度から全面的に変えるんだというのは、おかしな話でありますので、これ平成19年からずっと始まってきております。一連の流れと今資料すぐにとすることはできんと思いますので、また改めてこのアルコの修繕の年月日を含めた、今どこの到達点でどういうふうに今後なっていくんだと。これ非常に皆さん、利用者も多くて、アルコのプール、本当に子どもたち喜んで利用されておるわけですので、その辺のこともまた改めて何か資料を頂ければということ、これはお願いをしておきます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

鈴木スポーツ課係長。

スポーツ課係長（鈴木 栄治君）

スポーツ課、鈴木でございます。

先ほどの、過去からずっとヒートポンプのほうは、そういう改修の予定をしておりましたけれども、今までのヒートポンプは、空調、給湯、消音、複雑なちょっと役割がございまして、機器が故障した場合には、全ての機器に影響が出て、現在のような状況に至っておりました。

システムが複雑なゆえに、不具合時に原因の追求ができなくて、これ以上お金をかけてもちょっと無駄になってしまうということで、今回の改修の方針は、設置する熱源システムについては保守、不具合時の原因及び迅速な修理対応が維持しやすく、空調、吸音、消音、暖房の機能ごとにエリア分けをして原因の究明がすぐにできるものという改修内容になっております。

そういったことで、今回の改修更新でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

また、資料を用意していただけるように。

ほかに。

加藤委員。

加藤 光則委員

98、99ページのところで、学校給食のところでお聞きしたいと思います。

成果報告の368ページに載っておるわけでありまして。そこで、まずお聞きします。調理見込数ですが、どういうふうに見込数を出してみえるのかまずお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田でございます。

調理数の数字でございますが、こちらにつきましては、令和6年の3月の分として平均的に一日当たりを出したものを、端数を切ったものをお出ししております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。資料として平均のものを出したということでもあります。

所長さんが日々、本当に大変な努力をされておられると思うわけですが、日々のこの調理数の見込みというのは、どういうふうに把握して出してみえるのか。これはなぜかという、長期欠席の人があれだけみえるということでもありますし、例えば小学校で言えば、今現在の数で言えば3,930だったと思うんですが、それで、教職員が224おったら4,154になると思うんですが、ここでは4,343という平均だと。この辺の数の出し方というのは、どういうふう

に日々、調理の数を出されておられるのかということをお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

日々の調理数でございますけれども、まず学校のほうから食数表というものを該当月の前月の20日までにお出しいただきます。ここには、当然児童生徒分もございまして、教職員分、また、試食会があったりですとか講師でみえた方たちにもお食事を出したいという学校も多いもんです

から、20日の時点で分かるとるものをまず出していただきます。その都度食数が変更になった場合は、その食数表の変更ということで、日々学校からメールでいただきながら、対応できるところから対応してお出しをしておるいうところでございます。

減るものについては対応は比較的たやすいんですけども、どうしても増えるということになると、全体的な調整が発注も含めて必要になってきますので、基本的には前日の午前中までに変更があった場合は連絡をいただきたいということで、学校のほうには周知をさせていただいております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。大変御苦労なさっておるということで、日々対応もきちっとされておるということを確認させていただきました。

それで、もう一つは、令和5年度は9月から11月の3か月間、これ給食費無償ということで、公費でやられたわけであります。そして、この公費負担についても、令和5年度の食材費、物価高騰分、以前資料を出されておった令和5年度は6.3%不足だということだったわけです。

それで、ここの令和5年度の賄材料費が、3億2,792万5,284円、こういうことが載っておるわけですが、この6.3%をどういうふうにやりくりされて、この時にこの賄費全体があります、公費分というのは単に6.3%掛ければいいのかどうなのか、どういうふうな内訳になるかということをお聞きしたいと思います。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

委員おっしゃってみえるのは、令和4年度の実績が6.3%ということによかったですか。

加藤 光則委員

令和6年度からの給食費の額についてということで、運営委員会に出された資料を見ると、令和4年度から令和8年度における食材費の増加と給食費の不足の見込みという表が出されておりました。予算値が、令和5年度については、不足分が6.3%という表が出されておったものですから、そのことについて内訳をお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

運営委員会の資料は、あくまでも途中の経過で見込んだものでございます。

今回決算、令和5年度が出ておりますが、給食センターのほうで算出をしたところですが、令和5年度分につきましては、学校給食においては、物価高騰分割合というのは約7.1%ということで算出しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

7.1%、物価高騰、給食費、本当に令和5年度、3か月間無償にされて、本当に皆さん方が喜ばれている声をたくさん聞いたわけですが、これだけ本当に物価高騰で、皆さん方の生活も大変な状況であるわけであります。

それで今、7.1%ということ、この賄材のところに公費分はそれでどうなるかというのは、単純に掛ければいい話なんですか、出てくる額というのは。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

そうですね、一応金額にしますと、給食センターの算出でいくと2,278万6,295円、これが物価高騰として支出した金額という算出をしました。ここの部分が、当然委員が今お話しされたように公費で負担ということになるかと思えます。

内訳といたしましては、一般財源で2,278万6,295円、残りを臨時交付金で充てたような充当の形になっておるかと思えます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

交付金等も充ててやり繰りされたということでもあります。

今、当初予算ベースでいって6.3%が、実際は決算でいくと7.1%だったということをお話されたわけでもあります。

ちなみに、令和6年度、これも見込みが8.4%だったわけですが、今途中経過であります、ここについても今、どんな状況なっているんですか。さらに、物価高騰で大変な状況になっているんですか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

令和6年度1学期が終わっておりますが、今食材料費の支出が予算に対してほぼほぼ99%ぐらいの支出になっておりますので、2学期の状況もあるんですけども、ぎりぎりのところではやられておる状況ではありますもんですから、もう少し様子を見ていって、物価の状況だとか賃金の引上げ等もございますので、全体を見て給食費が適正なものかということは検討していきたいと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

本当に今、大変な物価高騰であるわけでありまして。情報共有されておると思うわけですが、今日も財政の方もみえておりますので、今99%だという状況だということは、しっかりつかんでおいていただきたいと思いますが、ちなみに、また新たな今、ニュース等で見ると、米の問題が出されております。本市も週に3.9回、令和5年度は実績で米を出しておるわけですが、令和6年度、今の時点で米の問題はあまり考えんでもいいような状況なんですか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

主食につきましては、清須市、愛知県下は全てそうなんですけども、県の学校給食会から納入を受けております。牛乳も含めてございますが、こちらについては、年度当初に価格のほうで固定で決まっておりますので、価格については、今年度中は問題ないという言い方はあれなんですけども、当初の金額で流れていくと思います。

ただ心配なのは、来年度の単価の状況がどうなるかというところ、また、県のほうから情報を得ながら、栄養教諭、栄養士等とも相談しながら進めていきたいと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

単価のほうで価格のほうは決めておるといことで安心するわけですが、問題は物があるかどうか、どうしても高いほうに流れますからね、売れるとなると。その辺では、きちっと物は確保できるということの認識でよろしいでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

吉田学校給食センター管理事務所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

今のところ、県の給食会、また、実際搬入をしていただいております業者のほうからは、供給ができないという話はありませんので、状況を見ながら、こちらからもちょっと問い合わせてみるということは必要かなと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しっかり対応をお願いしたいと思います。

最後になりますけれども、令和6年度も、今年度も値上げ分の負担は求めないということで、公費負担で行っているわけでありまして。給食というのは単なる食事ではなく、教育の一環としてあるわけでありまして。これも前にも言いましたが、憲法で定める義務教育の無償に照らせば、学校給食、これは無償にすべきだと私は思います。

今、全国で3割の自治体が学校給食無償化しています。そして、この流れが、愛知県内でも今7つの自治体が学校給食無償化、これ広がってきているわけです。財源の問題もありますので、いろいろあるかと思いますが、是非ともこの問題、課題、国、県へ働きかけを行っていただいて、清須市も一日でも早く学校給食無償化になるように私は最後に訴えたいと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに質疑はよろしいでしょうか。

それでは、ほかに質疑もないようなので、これで質疑を終結し、認定第1号「令和5年度清須市一般会計決算認定について」の建設文教常任委員会所管分について採決いたします。

本件に賛成の方の挙手を求めます。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

全員賛成でございます。よって認定第1号「令和5年度清須市一般会計決算認定について」の建設文教常任委員会所管分については、認定すべきものと決しました。

ここで休憩に入らせていただきます。

休憩を11時10分までとさせていただきます。

（ 時に午前10時57分 休憩 ）

（ 時に午前11時10分 再開 ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

つぎに、議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」の教育委員会所管分を議題といたします。

当局からの説明を求めます。

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

学校教育課長の瀬尾です。よろしくお願いいたします。

議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」、建設文教常任委員会教育部所管分を一括して御説明いたします。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にさせていただき、令和6年度一般会計特別会計補正予算書及び説明書の4ページを御覧ください。

第2表、地方債補正です。変更です。2行目の小学校整備事業、補正前限度額7,100万円、補正後限度額1億2,500万円。5,400万円の増額は、小学校特別教室の空調設備設置工事の事業費と春日小学校インターホン更新工事の事業費が確定したことによるものです。

続きまして、歳入です。10、11ページを御覧ください。中段です。19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、補正額1億7,264万1,000円の減額は、1節基金繰入金のうち、教育部所管は義務教育施設整備基金繰入金1億円の増額です。

続いて、22款市債、1項市債、6目教育債、補正額5,400万円の増額、1節小学校債は、小学校特別教室の空調設備設置工事の事業費が確定したことによるものです。

歳入については、以上です。

続きまして、歳出です。16、17ページを御覧ください。10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、補正額1億3,953万2,000円の増額は、12節委託料から14節工事請負費まで、清洲東小学校、新川小学校、星の宮小学校、春日小学校の整備の増額は、特別教室の空調設備設置工事の熱源を電気からガスの変更に伴う工事費の増額及び春日小学校のインターホンの不具合が発生したことに伴う更新工事費の増額です。

続いて、3項中学校費、1目学校管理費、補正額1,618万1,000円の増額、12節委託料から14節工事請負費までです。清洲中学校整備費の増額は、消火設備に係る排水管の漏水に伴う排水管改修工事費の増額です。

建設文教常任委員会教育部所管分の説明は、以上です。

御審査のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

以上で、説明は終わりました。

これより質疑を行います。

質疑のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

質疑もないようでありますので、これで質疑を終結し、議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」の建設文教常任委員会所管分について採決いたします。

本案に賛成の方の挙手を求めます。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

全員賛成でございます。よって、議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」の建設文教常任委員会所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

つぎに、議案第52号「動産の取得について（追認）」を議題といたします。

当局からの説明を求めます。

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

学校教育課長の瀬尾でございます。

議案第52号について御説明いたします。

moreNOTEの令和6年9月清須市定例会市長提出議案追加提案と説明資料追加提案を御覧ください。

まず提出議案の1ページをお願いいたします。

議案第52号

動産の取得について（追認）

下記のとおり動産を取得することについて、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記、1、令和2年度分、（1）、取得する動産、小学校教師用教科書、指導書。（2）、契約の方法、随意契約。（3）、契約の金額、4,243万3,757円。（4）、契約の相手方、愛知県清須市清洲546番地、有限会社武藤清洲店、代表取締役、武藤哲哉

2、令和6年度分、（1）、取得する動産、小学校教師用教科書、指導書等。（2）、契約の方法、随意契約。（3）、契約の金額、5,275万4,705円。（4）、契約の相手方、愛知県清須市清洲546番地、有限会社武藤清洲店、代表取締役、武藤哲哉

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

2ページを御覧ください。取得する動産の概要でございます。上段の表は令和2年度分、下段の表は令和6年度分で、それぞれ清須市立小学校8校の教師用の教科書、指導書、デジタル教科書等の購入でございます。

つぎに、市長提出議案説明資料の1ページをお願いいたします。

一つ目の丸、概要でございます。清須市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、予定価格が2,000万円以上の財産（動産）の取得については、議会の議決を経て取得すべきところ、小学校の教師用教科書、指導書等については、議会の議決を経ず取得していたことが判明したため、追認を求めるものでございます。

議案第52号の説明は、以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

以上で、説明は終わりました。

これより質疑を行います。

質疑のある方の挙手を求めます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

林です。

この件につきましては、既に御説明をいただいたんですけれども、改めてここでお聞きしたいと思っておりますけれども、まずこうした追認に至った経緯と、それから、原因とこれからの対策ですね、こういうことが起こらないような、その辺について御説明をお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

経緯なんですけれども、他の自治体の事例が、新聞で出ました。それを見た他の課の職員が学校教育課のほうに教えてくださって、学校教育課のほうでも、そういうものがあるかないかというのを確認したところ、令和2年度の契約と令和6年度の契約、この2件が該当することが分かったものでございます。

今後の対策というところなんですけれども、再発防止に向けた取組としては、学校教育課の事務の引継ぎ資料、フォルダ管理をしておるんですけれども、そちらのほうに今回の動産の取得についての流れを全て記入して1個1個チェックできるようなチェックリストを作成していきたいと思っております。

例えばいついつに見積りをもらうとか、いついつに予算執行伺いを出すとか、予算に計上するとか、そういうところにチェックをしておいて、最終的には議決を得るところまでチェックができるようなものを作ってまいりたいと思っております。

そして、予算価格が2,000万円以上の契約案件については、予算編成時にあらかじめ分かりますので、その時点で、そこで必ず議決がいるということを学校教育課内部でしっかりと把握して事務を進めてまいります。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

ありがとうございました。

やはり個々の学校になりますと、金額が少なくなってきて分からなくなりますので、学校教育課にかかっていると思いますので、しっかり取り組んでいただきたいということと、確認ですけれども、この令和2年度分からの今回なんです、この以前の分についてはいいわけですね、このままで。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

これ以前のものについては、保存年限が5年間ということなので、令和2年度以前については分かりません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

林委員。

林 真子委員

ありがとうございました。また、今後ともしっかりとこういう問題が起きないように取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、経過と対策についても述べられたわけであり、いかなる場合に議会の議決が必要かという基本的な事項について、行政職員の皆さんとして意識に欠けるところがあったのではないかと、これは今いろいろ指摘されているわけであり、

単に法令の理解不足という捉え方、これをするだけではなくて、法令に基づいて行政を執行すべき市の職員皆さん、そして、幹部の皆さんの意識の問題として捉えるべきところがあったのではないかなと思うわけですが、その辺については、どのようにお考えか質問します。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

石黒教育部長。

教育部長（石黒 直人君）

教育部長の石黒でございます。

委員おっしゃるとおり職員としての知識の欠如といいますか、認識の甘さというところがあったと思います。

教育部だけに限らず、今日、財産管理課もみえます。契約検査のほうともその辺を徹底するように、部長会等を通して全課、全職員にまた呼びかけていきたいというふうに思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、教育所管だけじゃなくして、全課、全職員にという、部長会を通してということのお話がありましたので、改めてお聞きしますけれども、再発防止に向けて、市として何か訓示なり何かなりを行ったのかどうか。

それから、これから教育所管だけじゃないということではありますが、本市にも法規をやる担当課がありますので、この地方自治法96条第1項に定める議決事件の再確認及びこの清須市役所の中のマネジメントについて、どうしていくのかというような、こういう依頼についても何か検討されたのか、副市長なりにお聞きしたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

葛谷副市長。

副市長（葛谷 賢二君）

この事件が発覚後、部長会において市長から、今、加藤委員が言われたような指示がありまして、そういったところを引き締めてやってほしいということで、我々も今後の対応については、一つ一つ確認をしながらやっていきたいということで、十分注意してやっていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

加藤委員。

加藤 光則委員

この問題というのは、非常にいろんなことの教訓を引き出す課題でもあると思いますので、し

っかりと対応していただきたいと思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

成田委員。

成田 義之委員

今の関連の質問ですけれども、これも令和2年に武藤からお買いになっていると。これは半永久的に武藤じゃなきゃ買えんような、こういう物件なんですかね。これ1点。

それと、数が今回増えたのかどうかという、令和2年度と違って令和6年度は、子どもの数が増えたのかどうか。そのちょっと2点をお伺いします。

それと、ついでだけでも、これが単価的に妥当かどうかというのは、どういう判断でお決めになるか、それもちょっとついでに。

3つお願いします。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

契約の相手方、武藤書店なんですけど、清須市の教科書取次販売店、県のほうで取次販売許可というものがございまして、そこで指定されている販売所が、武藤書店ただ一つでございまして。

なので、清須市、今後も武藤書店がある限り、武藤書店から購入することになるかと思えます。

令和2年度と令和6年度の冊数の増減があったかどうか、令和2年度よりも令和6年度のほうが教科書、指導書等、ともに増加をしております。

あと、単価については、あらかじめ単価を決められてきますので、その妥当性というのは、市でどうのこうの言えるところではなくて、定価というところで決められてきます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

成田委員。

成田 義之委員

今、お話を聞くとね、どこで買っても一緒だよと。そして、県のほうでは、市にある本屋さんでお買いなさいと、こういうことで理解したらよろしいですかね。それでいいならいいで、結構ですよ。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

瀬尾学校教育課長。

学校教育課長（瀬尾 光君）

結構でございます。

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに質疑は、ございませんでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ほかに質疑もないようでありますので、これで質疑を終結し、議案第52号「動産の取得について（追認）」を採決いたします。

本案に賛成の方の挙手を求めます。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

全員賛成でございます。よって、議案第52号「動産の取得について（追認）」は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは最後に、発議第2号「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）」を議題といたします。

提出者である林委員は、発言席への移動をお願いいたします。

本会議において、提出者である林委員から既に朗読説明が行われているため、当委員会では説明を省略することにしたいと思いますが、これに御異議はございませんでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

異議なしと認め、説明を省略することにいたします。

それでは、これより質疑を行います。

質疑のある方の挙手を求めます。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

質疑もないようでありますので、これで質疑を終結いたします。

林委員は、自席へお戻りください。お疲れさまでした。

それでは、発議第2号「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）」を採決いたします。

本案に賛成の方の挙手を求めます。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

全員賛成でございます。よって、発議第2号「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）」は、原案のとおり可決すべきと決しました。

以上で、建設文教常任委員会に付託された議案等についての審査を終了いたします。

なお、従来どおり常任委員会の閉会中の継続審査を議長に申し出ることにより御異議はございませんでしょうか。

（ 「異議なし」の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

異議なしと認め、閉会中の継続審査の申出書を議長に提出いたします。

また、委員長報告書の作成や委員長報告の内容等につきましては、委員長に一任していただくことに御異議はございませんでしょうか。

（ 「異議なし」の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（松岡 繁知君）

ありがとうございます。

御異議なしと認め、このように決定いたします。

これをもちまして、建設文教常任委員会を閉会いたします。

二日間にわたる審査、お疲れさまでした。

（ 時に午前11時28分 閉会 ）

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和6年9月10日

建設文教常任委員会委員長 松岡繁知